

科目番号	1205	領域区分	感染制御学領域／滅菌供給管理学領域	
学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
1	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	感染制御学研究特論Ⅱ (Special topics on infection prevention and control Ⅱ)			
担当教員名	木村 哲／菅原 えりさ 岩澤 篤郎／吉田 理香／松村 有里子／梶浦 工／佐伯 康弘			
授業の概要及び到達目標				

本研究科での修士論文作成には、研究を行うことが必須である。そのため、感染制御学領域での研究対象の設定から研究の進め方、実施方法、まとめ方等に対して、領域横断的な指導も行えるよう、複数の研究指導教員による実験および研究指導を行う。さらに、本科目履修後は以下に示すように研究特論Ⅲ、Ⅳと順次実施する。

なお、研究特論Ⅰは、修士1年前期、研究特論Ⅱは、修士1年後期

研究特論Ⅲは、修士2年前期、研究特論Ⅳは、修士2年後期 を対象とする。

この継続的な指導により、学生個人の興味・関心に合致した各自の専門領域・研究テーマ設定に関連した論理思考が身につき、それに適した研究手法に対する学術文献の検索、研究テーマに適した解析方法の演習を通じて、論文作成に到るまでのプロセスを指導する。これにより、公表された学術論文がどのような過程の下で、作成されたものかを理解すると共に、学生個人の修士論文研究を遂行できることを到達目標とする。

感染制御学研究特論Ⅱでは、修士1年前期に実施した特論Ⅰで習得した研究手法に基づき、興味・関心に合致した研究テーマに最適な研究手法の概説、先行文献等を元に、学生によるプレゼンテーションを行い、担当教員を含めたディスカッションにより講義を進めていく。

準備学習等

選択した研究テーマに関して、最適な研究手法に関してプレゼンテーションができるように準備して講義に臨むようにしてください。

成績評価の方法	講義への取り組み方、プレゼンテーションおよびディスカッションにおける回答等、総合的に評価します。
テキスト	なし
参考図書	なし

備 考	研究特論Ⅰの受講を必須とする。修士2年で開講する特論Ⅲ・Ⅳを履修することが望ましい。 4人の担当教員は並列に講義を実施します。修士学生を4グループに分け、各グループがすべての教員の指導を受けるようにします。 オフィスアワーは、適宜対応します。事前にメールにて相談してください。
-----	--

授業計画

第1回 全体指導(感染制御学研究概要について、グループ分け)

第2回～第13回

下表のように3回毎にローテートして、4人の教員の専門分野ごとに検討・討議を行い、学生個人の設定した研究テーマの位置づけや論理的側面の検討を行います。主に、先行研究等について、学術論文を輪読し、より深く理解できるように討論を行います。

	菅原	岩澤	吉田	松村
第2回～第4回	A	B	C	D
第5回～第7回	D	A	B	C
第8回～第10回	C	D	A	B
第11回～第13回	B	C	D	A

第14回～第15回 (木村 哲、梶浦 工、佐伯 康弘)

全体指導を実施する。研究特論Ⅰ・Ⅱの総括を行い、学生個人の興味・関心に合致した専門領域・研究テーマに対して、研究特論Ⅲに結びつくように検討・討議を行います。